





Rotary

川崎大師ロータリークラブ

週報

例会日: 毎週水曜日 PM12:30~
 例会場: 大本山川崎大師平間寺信徒会館
 事務局: 〒210-0812 神奈川県川崎市川崎区東門前1-15-10 カーサ石井1F
 Tel: 044-277-7569 Fax: 044-288-8550
 URL: <http://www.kawasakidaishi-rc.com/> E-mail: daisi-rc@eagle.ocn.ne.jp

会長 岩井 茂次
 副会長 船木 幸雄
 幹事 秦 琢二
 SAA 猪狩 佳亮

第2181回 (本年度 第36回) 例会 平成30年4月18日 一晴一

- 司 会 猪狩 佳亮 S A A
- 点 鐘 岩井 茂次 会長
- 齊 唱 「奉仕の理想」

卓話者紹介 岩井茂次 会長
 カルッツ川崎 アドバイザー
 北條秀衛様

ゲストの紹介 岩井茂次 会長
 川崎信用金庫 大師支店 支店長 工藤和弘様

ご挨拶 黒澤 穰 会員

一昨日正式な辞令ができましたので、大師支店に通勤するの今日が最後となりました。あつという間の3年間で。今日中原RCの小林さんがみえています、彼も小杉から工藤支店長が来て中原RCで2年大師RCで3年とロータリーライフを5年間続けさせていただきました。本当にあたたかい方ばかりで違和感なく、スムーズに入ることができました。



雑誌広報委員長で1年間ロータリーの友精読をさせていただいたのが一番の思い出かなと思っています。今後本部に行くとサポート部というところで仕事をさせていただきます。営業所に近い部署です。今後またみなさんとお会いする機会も多いかと思えます。これからも御指導を頂きますようによろしくお願いいたします。本当に3年間ありがとうございました。

工藤和弘様

今度大師支店に拝命されました工藤です。よろしくお願いいたします。今、黒澤支店長から御紹介いただき4月16日付けでその日から引継ぎということで、大師支店に3日間来て、明日から小杉支店に戻りますが来週25日から正式着任ということで、皆様にお世話になります。いろいろ勉強をさせていただき、早く皆様と親しくさせていただきたいと思っています。私も登戸支店の時には稲生RC、多摩RCで最初にRCの勉強をさせていただきました。今、小杉支店で中原RCで今度は大師RCにお世話になるということで本当にご縁があり、勉強をさせて頂けると思っています。ぜひよろしくお願いいたします。



来訪ロータリアン紹介 布川二三夫 親睦委員
 川崎中原RC 小林正樹様

会長報告 岩井茂次会長

①布川 浩会員に地区ローターアクト委員会、地区委員の委嘱状が届いております。



②4月16日川崎臨港警察署 交通課様より連絡がありました。先週末の強風により細谷会長年度他で当クラブより寄贈した産業道路の看板2枚が取れかかり、あわせて他の6枚も点検したところ老朽化や腐食が進んでいたため、事故防止の観点から撤去したとのことで、現在臨港警察署に保管中、処分をして欲しいとの事でした。

③猪狩会場監督が誕生日を迎えました。

幹事報告 秦 琢二幹事

①社会福祉法人育桜福祉会様より「広報誌 いくおう 第38号」が届きました。 回覧します。

②新横浜RCより、「南アフリカ学習者支援プロジェクト」支援金協力に対して御礼状をいただきました。回覧します。

③来週 4月25日の例会会場 2階大広間となります。

出席報告

森田 尊久出席委員長

	会員数	対象者	出席	欠席	出席率
2181回	54	45	26	19	57.78%
2179回	54	45	32	13	71.11%
前々回の修正	メイクアップ	4名	修正出席率		80.00%

メイクアップ

野澤隆幸会員、林鶴会員、鈴木昇二会員、須山文夫会員



スマイルレポート 鈴木昇二次年度副会長

川崎中原RC 小林正樹様

本日は黒澤支店長、工藤支店長の応援にお伺いさせて頂きました。

川崎中原RC 小林正樹様

川崎大師RCの皆様には日頃より多くを御指導賜り心より深く感謝申し上げます。

黒澤 穰会員

3年間お世話になりました。

中村眞治会員

①中原クラブから小林さん、ようこそおいでいただきました。

②八尋さん昨日は素晴らしい進行役、楽しいひと時を有難うございました。

竹中裕彦会員

ファイアーサイドAグループの皆様、昨夜はお疲れ様でした。八尋さん、キャラ満点のリーダーをありがとうございました。坂東さん、素敵なお店ですね！

須山文夫会員

①娘のベルギービザ申請と健康診断のため、ニコニコだけ置いていきます。ベルギーからの書類も徐々に到着し、どんどん具体的に進んでいきます。8月18日に出国が決まりました。

②猪狩さん お誕生日おめでとうございます。

松井昭三会員

北條さん カルツかわさきの卓話をよろしくお願い致します。雨天の中ありがとうございます。御座居ます。



秦 琢二幹事

北條様、本日の卓話よろしくお願ひいたします。

岩井茂次会長

①昨日はファイヤーサイドAグループ参加の皆様お疲れさまでした。濃いお話が出来て楽しかったですね。

②昨日ファイヤーサイド、明日は佐沼RCのお花見移動例会です。

③北條様、本日の卓話よろしくお願ひ致します。

本日のニコニコのテーマ

「北條秀衛様、ようこそ川崎大師ロータリークラブにお越しくださいました。本日の卓話 宜しくお願ひ致します。」

水口 衛会員、猪狩佳亮会員、寺尾 巖会員
野澤隆幸会員、細谷重徳会員、坂東保則会員
沼田直輝会員、布川 浩会員、鈴木昇二会員
鈴木幹久会員、内田省治会員、磯田 稔会員
計：29,000円

委員会報告

次年度幹事 猪狩佳亮会員

本日例会終了後13時45分より次年度理事会を開催致します。出席義務者の方はご出席お願ひします。

卓話者の紹介 松井昭三会員

御本人から直々にお話しをさせて頂きます。

宜しくどうぞお願ひします。



卓 話

カルッツ川崎 アドバイザー

北條 秀衛様



日頃の奉仕活動大変御苦勞様で御座います。また美味しい食事をありがとうございました。

お招き頂き、貴重な時間をいただきまして私にいただきありがとうございます。

いくつかのご説明をさせていただきます。

自己紹介をさせていただきます。

カルッツをつくるにあたり市が指定管理者という業者としてつくったのですが、なかなか市民が入っていないということでこのカルッツを市民サイドで持ち上げないとせっかく建物はつくったのになかなか魂が入らないのではないかということがあり、市民サイドの実行委員会をつくりました。その時にお世話になったのがこちらにいらっしゃる寺尾様です。寺尾様には大変お世話になり最後は会計監査もやっていただきました。

寄付金が1千万以上集まりました。いろいろな電子機器など、一番寄付金をいただいたのはこちらにもいらっし

やいます川崎信用金庫さんです。デジタルサイネージという入り口にテレビが何台も置いてあり今日は何をやるのか、次にどんなイベントをやるのかというのを本当に川信さんに本当にお世話になりました。その中で寺尾様の御紹介でここに呼んでいただいた、私が松井様から著名な絵描きさんの北川ぎんさんから富士山を中心にした非常に大きな絵を2点ご寄付いただきました。カルッツへ行く機会がありましたら2階と3階のロビーに飾ってありますのでぜひご覧頂けたらありがたいと思います。先ほど内田さんと久しぶりにお会いしました。

私が川崎市の教育長をやっていた時に教育委員として川崎の教育をどうするのかいろいろと議論した方で大変お世話になった方です。そのままおつきあいをさせていただいております。川崎の教育をどうするかということよりどうやってお酒を美味しく飲むかということが多いです。

先ほど鈴木さんにも、大師の薪能が古くから行われますが、信徒会館を作るときに一度途絶えたんです。そういうのを復活させようということで、観光協会の斉藤文夫さんと私その時に文化財団をやっていたので文化財団とて話をして復活させたということです。興業ですからチケットが売れなければ成り立たないのでだいぶお世話になりました。そんなことで色々な方にお世話になっています。

本日はレジュメをお配りさせていただきました。

川崎の文化とカルッツ川崎という題で話申し上げたいと思います。

基本的にはカルッツというものの位置づけ、川崎の全体の中でどういう位置づけにあるのかをご案内いただきそれが同時に、川崎の今の文化芸術の現状はどのように広がっているのか話をしたいと思います。

役所にいたときには文化行政をかなりやりました。まもなく20年になりますが岡本太郎美術館の建設をするときに、裁判や色々なことがありました。その時に避難したような形で、その時に川崎の臨海部整備推進室 今殿町がかなり脚光を浴びていますがその時に寺尾さんにお世話になりましたが、臨海部推進室というところで推進室長をやっておりました。工業と生命法があり川崎市南部に工場を作ってはいけないというかなり厳しい状況の中で、この南部に約170ヘクタールの遊休地がある。これをどう対策をつめるのだと始めた事業です。その時にいすゞが撤退するというので、いすゞに工場は呼べないのだからどうか撤退しないでと行きました。

今はだいぶ業績が良くなっていますがその時は業績が悪化しているということでどうしても出て行くことでした。36ヘクタール。これは東芝の、今ラゾーナが出来て脚光を浴びていますが、あそこは11ヘクタールなんです。約3倍以上いすゞは持っていた。それが空き地になったらどうするんだと、都市基盤整備公団URさんを買ってくれるようお願いしましたがなかなか買ってくれないので、ヨドバシカメラが3分の1くらい持っています。

その当時から狙いは医療関係、羽田に隣接してやると世界中の医者・研究者が集まったりいろいろなことができるということであり、20年以上前ですので、それが今頃花が咲いたというそれから羽田との道路もできました。今臨海部の遊休地はほぼゼロという。

その当時は色々な案がありました。ひどいのは東扇島に日本鋼管さんがあり、その後川崎製鉄と合併しましたがあそこに広大な敷地があります。それをアメリカのアトランティス、アルカポネが入れられた島の刑務所、首都圏の刑務所が混んでいるからあそこなら泳がなければ逃げて帰れないから刑務所をどうだというんです。それは勘弁して欲しい今後の川崎のイメージがと。その次に出たのは羽田の沖合移転が出来ましたが、その当時は羽田の移転が今のようにいきなりつかっておりませんので騒音がうるさいということであそこに飛行場をつくったらどうだという、いろいろな唐突な意見がありました。浮島に手塚治虫ワールドをつくったらどうだ、韓国でワールドカップの誘致があったのでサッカー場をつくったらどうだろうと、あそこは豊洲と同じでゴミを埋め立てていますので杭をものごく打たなければならない、ものすごくお金がかかるということで、その後ガスが抜けるまでということ、もうまもなく20年なのでそろそろ新しいものを使い始めるとおもいますが20年間据え置きになったという。そのような臨海部の中で仕事をさせて頂きその後また教育委員会へ戻ったというのが私の役所での人生です。その中で文化などもやっていますが、川崎のまちづくりということで音楽のまち かわさきというのはミュージアムが出来た時に初めてのクラシックホールですし200億近く掛けて川崎西口の再開発、この時はまだラゾーナが来るという時点ではなかったんです。

そこで再開発の目玉にしようということでそこに人が集まって近隣等の商業等が栄えると。シャワー効果というかその当時はホールがまちを賑わわすということで、全国至る所にホールができました。この辺では天王洲にできたりと、そこでお客さんを集めたりと。全国の自治体でほぼつくってありますが、2,000くらいのホールができ、過密的にできてきたのですが、今それがリニアになり長寿命化しないと、それが古くなっているということで、なかなかそこに行事を入れるのが大変なので、全国で活躍しているのは半分くらいではないですかね。そのような状況がありますが音楽のまち かわさきでミュージアムをつくる、これをつくったからには賑わわせないといけないということで音楽のまち かわさき協議会ということで片方でミュージアムで一生懸命やる、協議会を全市の方を集めてやるという。大きい方がいいだろうということで先日お亡くなりになってしまいました。東芝の当時会長さん西室泰三さん日本郵政の社長さんもなさった方に川崎が東芝があるんだということで司会をやっていたことがありますが。今は第2期で味の素の会長で伊藤さんがされております。この町の川崎はずっと色々なことで議会でもいろいろなことが出ました。今ネット、携

帯で音楽のまちと検索してください、川崎なんです一番最初に出てくるのは、これは議会などで音楽の町かわさきといって流れますとこの回数が一番多いところが上に来るといいます。これは広告費を出せば一番上には来ますが音楽のまちということでかなり発展しています。

映像の町川崎ということで昨年もゴジラ、東京湾この臨海部から出てきて工場を踏み倒して最後は小杉のビルを倒して東京側に入っていくという撮影が行われましたが、映像の町川崎は、川崎は映画館がシネマコンプレックス、駅前には昔チッタがありましたがあつたときには全部で20はなかったんじゃないですか。今は40いくつあるんです。建物自体は3つしかありませんがチッタと109とTOHOシネマ、これだけ狭い地域に映画館があるのは珍しいです。1年間にどこの映画館が一番お客さんが集めるのかという時、ずっとチッタでした。チッタ1館しかありませんでしたから。今は3館あわせると日本一の映像の拠点は川崎駅前が続いているだろうと思います。映画に関して川崎市内では新百合ヶ丘にあるというだけで、あとは昔みたいに駅前に鹿島田にあつたり小杉にあつたり溝の口にあつたり登戸にあつたりというのはないです。

もう一つ、スポーツのまち川崎は、フロンターレをトップに今いろいろやっています。野球も今企業さんが撤退して、三菱さんが全国制覇したり東芝さんがアマチュア野球で全国制覇したりいろいろありましたが、最近では頂点はフロンターレです。昨年優勝しました。

そのほかに国際科学文化都市、工業の町、研究者の町、とかありますし統計上もいろいろあります。研究施設が、殿町にもいろいろ集積しましたが研究所が全国で一番多いのは川崎です。研究者がお住まいで一番多いのは川崎です。

文化関係でいえば、映画やお芝居に一番お金を消費するのは川崎なんです。川崎は音楽ホールがあつたり、そういうのが出てきたので全国で1位。音楽に消費する消費支出は川崎。そのような状況で文化が進んでいると。

1つはミュージアム川崎・サマーフェスティバルが7月～8月にかけて行われます。日本の主要な交響楽団が全部やってきます。首都圏だけでも10いくつありますがそれが短期間になおかつ比較的料金の安い。地方で東京交響楽団などをイベントを呼ぶためにはあごあしといまして、あごは食事代、足は交通費、宿泊代が当然かかってしまいどうしても値段が高くなってしまいます。川崎の場合はそういうものはほとんど無しで来てもらえます。ということでこういうフェスティバルがかなり大きくやっています。

2番目に川崎ジャズフェスタ。今年6年目か、7年目ですが川崎区等を中心にしながら川崎のジャズを中心に、多様化という事で川崎にはいろいろな世界中の人が住んでいます。そういうものに一番フィットするものはなにかというとジャズやっています、これは秋にミュ

ザでゆったりいろいろなところでやっておりますのでぜひ1度ぜひおいでいただければと思います。

3つめは川崎しんゆり芸術祭。アルテリッカというアートとリッチを組み合わせた造語です。カルッツも造語です。カルチャーとスポーツの文化とスポーツと伝統です。

4番目に川崎市の文化・芸術施設

ここ何十年かでたくさんの施設ができています。皆さんにお近くの川崎駅周辺ですとミュージアム川崎シンフォニーホール、2000人のシンフォニーホールを持っています。川崎駅北口と直結になりました。川崎市能楽堂、昔大日本電線のあった日航ホテルの裏のところ。川崎スポーツ文化総合センター、これがカルッツ川崎のことで。東海道川崎宿交流館、約5年間経ちまして東海道の中で小さいながらも1年間毎年7万人以上の人に来ています。東海道を歩くという趣味の人が非常に多いです。品川をスタートしてちょうど川崎で来るという。町の中でコンビニがありますので、公衆トイレがほとんどないんです。東海道を歩く人がほとんどここに寄っていきたくてくれるという、大変賑わいをみせています。外国人も結構いますが、ここでメインは三度笠やいろいろな旅支度をしながら写真がとれるんです。色々な人が撮っていますので是非川崎にお知り合いの方が来ましたらぜひ、東海道に行ってその雰囲気と川崎の色々なことがわかります。教育文化会館、将来的にはあそこは川崎区役所が来るんです。川崎区役所がもっと早く来る予定でしたが耐震調査の結果、市役所の方が悪いということで市役所を先に替えを始めてしまいました。4、5年かかります。その後でないと川崎区役所が教育文化会館の所に来るというのはまだまだ先になってしまいました。そういう中で先行してカルッツ川崎だけは体育館と一緒にできてしまいました。

シネマコンプレックスはさきほどいったとおりです。川崎の文化は次に小杉、ここも最近にぎやかになってきました。等々力緑地にミュージアムとエポック中原は芝居ができますがと中原市民館です。一昨日コンベンションホールが1千人規模の大きなホテルのフロアのようなものができたので、皆様の会議も今後そういうところで増えるのではないかと思います。

溝の口周辺、川崎市にはいくつものホールがあります。ここには前田ホールという洗足学園の持っているものが1,000人を超えていますので一番大きなホールになります。登戸駅周辺はここは川崎で一番豊になるといいます。古い古民家を集めた日本民家園、宙と緑の科学館、岡本太郎美術館、多摩市民館、藤子不二雄ミュージアムと施設としては藤子不二雄ミュージアムだけでも日本中から年間50万人の方が訪れています。生田緑地にも年間何十万人も訪れています。ここは古くなれば古くなるほど価値が出てきます。川崎の一番の将来的な展望の文化ゾーン

としては生田緑地から登戸周辺。ここに立派なお大師様という文化観光施設、歴史宗教施設がありますがここは歴史が違いますのでダントツの川崎NO.1です。ここももう少し文化等が密接になってこないと日常的にお客様が来るというのは厳しいことがあるのではないかと。この話は岡本太郎美術館をつくる時大反対にあいまして、その時準備室長でしたが、大師につくれと、臨海部につくれという話がありました。この4月から太陽の塔はリニューアルして毎日満員でしたが、中に入れるようになりましたが、臨海部につくとああいう高い塔ですので羽田にひっかりますのでできないんです。お大師様のこの辺でつくって日常はこの岡本太郎美術館で人をよんで、あと行事の日はお大師さまでよべば浅草みたいになるといわれたのですが、つくる場所と色々なことがあり断念しむこうに行ってしまったのですが、ある人がそれを言いになんか向こうで会議をしていましたが反対だと、岡本太郎が反対なのかというと、岡本太郎は良いけれど大師につくってという運動を皆様方の先人の方でなさった方がいらっしやいました。今は仲が良いのですが、新百合ヶ丘は、映画大学、昭和音楽大学、アートセンターなどホールが全部で9つあるんです。

しんゆり芸術祭をやり始めました。今年で10年目です。31演目40公演で名だたる日本の藤原歌劇団、スターダンスバレエ団、人間国宝の狂言などいろいろなものをやっております。川崎の南と北という感じで遠いのですが地元にとってはこういうパフォーマンスがあるということが地元の子どもの励みになると、自分たちのまちにこういうものがあると。目指すのは川崎NO.1、もうNO.1になっていると思いますが、小田急沿線NO.1、将来は日本でトップクラスのお祭りになってくるだろうと思っています。川崎というのは残念ながら細長い市ですのでどこかでぼーんと大きなお祭りをやってそれが円ですとみんな寄ってくるんですね。だいたい城下町はそういうことなのですが。川崎市は人口が150万人を超えまして集まってきて7番目になんたんです。あと抜けるのは2つ位で5番目くらいまでいくと思うんです。絶対に抜けないのは横浜、札幌、仙台くらいですかね。京都は抜きましたので福岡、大阪くらいが残るのですかね。私麻生区に住んでおります。今リニアの工事が始まっているんです。

太陽の塔があり麻生区から新幹線にのるまでが少し遠かったのですが乗ると今2時間10分なんです。新横浜から新大阪まで。朝9時30分のオープニングに間に合うんです。かなり朝はやくおきました、リニアだと1時間10分ですが2時間も1時間もそんなに早く行く必要があるだろうかと考えました。橋の工事も始まりました。

もう何年か先には羽田と直接になって、あそこは今交通の便が悪のですが、川崎からバスがでたり、小島新田から歩いたりしていますが、そのうち研究所で羽田にいったらあちらから歩いた方が早いんじゃないかなと思ったりすると川崎は何だ都市明け渡ししているのかと。

昔私が聞いたのは川崎にはゴミとトイレだけおいてほとんど東京に行ってしまうと。あとはみんな横浜中華街にいてしまう、コリアタウンを何とかしようといういろいろやっていたがなかなかお大師様をお参りに来て日本の古いものを見てコリアタウンで焼肉を食べると言う事にはなかなかならない。そういう抱負としてはあると思いますが、川崎の文化状況の中でまだカルツ川崎というのは教育文化会館が危ないという事が有り、教育文化会館がなくなると市民が困ると言う事で早めに建替えをということでした。

教育文化会館の建替えと今ミュージアムが非常に好調で日本で2番目のホールの位置づけになっています。

1番目は大差でサントリーホールです。サントリーと命名されているホールなのでそこだけですね。平日の夜もコンサートをやってお客様を呼べるホールは、都内にも東京文化会館、芝のオーチャードホール、池袋の芸術劇場などいっぱい大きなホールがありますが呼べません。ミュージアムも残念ながらほとんど土日祝日が100何日かありますので3分の1位は埋まるのですが、ただあそこはクラシック専用なんです。そこで他のもの、ジャズとかお芝居、演劇、オペラなどをカルツに集約しようということでカルツは2000人のホールにできております。なかなかお客さんが、簡単にチケットが売れません。東京都内のホールが古くなって直すんです。直すお金がないところ採算が合わないところ民間のいろいろなところは潰してしまいました。潰れるホールも結構あります。あえて今直しているところもあります。カルツもかなり市川海老蔵さんがきたりかなり米米CLUBが来たり日本でもトップの方が来ていますのでチケットは売れます。お客さんは別にカルツでやらなくてもミュージアムでやっても東京でやってもこういう人達はお客さんが付いてくる。同じような服装でわーっと2000人が川崎駅から歩きます。こういう文化状況になっております。ご興味がある方は紙をお持ちください。

カルツのスポーツの方では昔の体育館とほぼ同じです。ちょっと多い3000人位の集客です。ですから大きなイベントは出来ません。ボクシング、プロレスとか、バスケット、バレエなどやっていますが川崎だと7,000人位入るアリーナがありますのでそちらで興業的のようなものをやらないとなかなか難しい。あちらではは全国大会をいろいろ使いますので。いろいろなスポーツジムみたいなものもたくさん持っていますしスポーツDayもありますのでぜひお時間があれば個人利用もできますし費用も大変安くなっていますのでカルツの体育施設の方も使いたいと思います。

ホールの方には2,000人の収容施設の他に音楽の練習できる部屋もごさいます。ぜひ皆さん使っていただきたいです。アクトスタジオという300人位のスタジオがありますのでこれはいろいろな集会、講演会、会議などに使えますのでぜひご利用頂ければありがたいなと思っております。

大師の薪能5月22日に御座います。是非大勢の皆様でご覧頂ければと思います。あと1〜2割足りないことになります。当日を一度見て頂けるとカルッツは文化という意味と耕すという意味があります。先ほどシャワー効果と言いましたがいろいろなものが複合的に集まることによってそのまちの文化と集まりが賑わいが出来てくると思っています。その一つが薪能だと思っています。既にご協力も頂いておりますがもうひとつご協力をお願いします。

ラゾーナ寄席といいまして昨日行いました。毎月1回第3火曜日にやっています。昨日も150人位来ていました。定着してきました。

川崎駅前に珈琲寄席もありこれもなかなか年配者も多かったので文化財団が引き継いだ寄席でして多い時には200人が満員になったと寄席もいろいろやっています。新やりでも毎回やっています。川崎では寄席文化を定着させようということでカルッツでも円楽さんたちが来た時1800人はいったそうです。1800人で落語をみたら落語家は見えませんから、200人だと近いですし安いですし是非おいでいただければと思います。

最後は太陽の塔でこの中に入れるようになりました。展示会を4月からおこないます。ぜひこれもお客様がきたときに車で生田緑地にきていただければと思います。火曜日においでいただければ私のご案内できればと思います。招待券をおいておきますので必要な方はお持ちください。次にやるのは岡本太郎の写真展をおこないますのでお暇がありましたらおいでいただきたいと、地元川崎を文化、お大師様ということで、人が集まるところには産業もより活発になってくると思っていますので、文化もすべてまちづくりにつながっていくとおもっています。宜しくお願いします。いろいろな文化が川崎は高まっています。ぜひご協力をお願いしたいと思います。

謝辞 岩井 茂次会長

北條様今日は大変貴重なお話しをありがとうございました。生まれながらの川崎にこれだけの文化・歴史がたくさんあり囲まれている幸せを感じながら、文化というところからお話しをいただきましたがいろいろなもの歴史からスポーツから岡本太郎さんももちろん。みんな行ったことのある人はなかなか少ないでしょうからこれを機会にいろいろなものを楽しんで文化を学ばせて頂きたいなと思います。本日はどうもありがとうございました。

●点 鐘 岩井 茂次会長

5月2日は休会です

日時：平成30年5月9日(水)は
通常例会です。

ロータリーの友精読



八尋 匡彦/森田 尊久/星野 祐治

